

タイトル『妖怪アパートの幽雅な日常』

著者：^{ミラ}香月 ^{ツキ}日輪 ^{ひのわ}

出版社：講談社

十三歳で両親を失った主人公、稲葉 夕士が高橋進学と同時に入居したのは寿荘、別名妖怪アパート。

次々で目の当たりにする非日常を前に、夕士の今までの常識と知識は砕け散る。

「君の人生は長く、
世界は果てしなく広い。
肩の力を抜いていこう」

この言葉を胸に夕士は自分の常識と考えを崩し、新しくつみ上げていく。

そんな『普通』の物語。

ほのぼのとした夕士と妖怪アパートの住民達の日常をのぞく本

投稿日 2018 年 11 月 13 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

高木橋 エウ

年齢

14